

■ 亀田健康管理センター

健康管理センターは1971年に発足され、いち早く内視鏡検査を人間ドックに導入するなど、全国のドック実施施設の草分け的存在である。近年の医療技術の向上に伴い、最新の検査を導入し、また検査の見直しなどもおこない、常に質の高い医療の提供と、自然に恵まれた鴨川のリゾート型施設での癒しと快適性を結びつけながら、サービスと医療の提供をおこなっている。

人間ドックは亀田クリニック5階にて、計測・聴力・心電図・ABI・肺機能・超音波検査・採血・採尿・問診・診察の検査部門は健康管理センターの独自のフロアで実施されている。また、特色としては内視鏡室（3台）、婦人科診察室（2台）を健診者専用にて設けている。画像検査関係はクリニック3Fにて外来患者と併用して検査がおこなわれている。なお、土曜日の内視鏡検査はクリニック3F内視鏡センターにて実施している。

クリニック6Fには、宿泊ドックの客室（最大13名宿泊可能）を備えている。

2014年4月からは4施設（鴨川、幕張、京橋、安房地域医療センター）合同で稼動するアオラニ健診システム（タック）を導入おこなった。これにより念願であった亀田グループの健診システムのネットワークの構築ができ、診断基準、データ判定値、コメント、画像診断が統一された。

2016年6月には、亀田クリニック健康管理センターとして、日本人間ドック学会の施設認定の受診審査を受け、同年9月に施設認定として承認された。

1. 2016年度の目標

1) 財務の視点

- A-1 ふるさと納税での人間ドック受診促進（鴨川市・いすみ市）
- A-2 人間ドック受診者増
- A-3 Web予約の活用
- A-4 フォローアップ外来の充実と拡大

2) 顧客の視点

- B-1 ドック運用方法の改善と検討
- B-2 受診者満足度結果の分析・対策
- B-3 受診者の検査待ち時間把握
- B-4 結果表発送の短縮

3) 内部プロセスの視点

- C-1 健診ロビーのレイアウト変更
- C-2 JCI、ISO、人間ドック学会施設認定等の受診
- C-3 人間ドック受診後の追跡調査

4) 学習と成長の視点

- D-1 研究の推進
- D-2 定例勉強会の開催
- D-3 接遇マナーの対応習得

2. 健康管理センタースタッフ配置

医師：健康管理科（センター長、部長1名、医長2名、医局員4名）

看護師：健康管理支援室（常勤6名、非常勤8名）

検査技師：超音波検査室（常勤13名）

事務：健康管理課（常勤22名、非常勤2名）

この4部門のスタッフは専従でクリニック5・6階にて健康管理センターの業務をおこなう。そのほか画像センター技師、内視鏡検査技師によって人間ドック・健診受診者の検査に対応している。

3. 画像診断依頼診療科

胸部X線、胃部X線、PET-CT、脳MRI、ヘリカルCT、大腸3D-CT、
乳腺（MMG・MUS）、超音波検査：（京橋クリニック画像診断センター）

PET-CT：放射線科

婦人科診察・エコー：婦人科

眼底写真：眼科

4. 住民検診の実施

地域住民（がん検診）については、安房地区（館山市、南房総市、鋸南町、鴨川市）の子宮がん検診、乳がん検診（乳腺マンモグラフィ・乳腺エコー）を6月～1月まで午後の時間帯にて検査を実施している。

5. フォローアップ外来の開設

1次健診（ドック・健診）の実施数を年々増加しており、2次検査（精査）の受け皿であるクリニック外来受診が迅速的に誘導することが困難になりつつあるところで、健康管理センター内で検査できる分野を保険診療にてフォローアップ外来を開設した。

- ① ピロリ菌除菌外来
- ② ピロリ菌検査
- ③ 便潜血陽性者への大腸内視鏡検査
- ④ 胃部X線検査異常所見者への胃内視鏡検査
- ⑤ 腹部超音波検査（6ヶ月後の経過観察者）
- ⑥ 生活習慣病（糖代謝異常の経過観察者）

ドック・健診受診後に上記該当受診者に対しては、結果表とは別に別紙にて案内書を添付し、フォローアップ外来を促進している。

なおも、ドック受診後の追跡調査を実施し、ドック判定で精密検査の指示の受診者に対して、当院外来受診および他施設での受診勧奨をおこなっている。

6.健康管理センターの今後の方向性

2011年9月よりリハビリ室に要請し一泊ドック受診者に運動機能検査（てんとう虫テスト）を実施している。

また、鴨川市より要請を受けた特定健診を実施し、運動機能テストと食事指導を追加した健診をおこない、行政、受診者からも好評を得た。次年度以降も継続していき受診率の向上に繋がる方向ができた。

スタッフ間においても、予防医学を推奨できる環境をもとめられ、リハ室、栄養科、行政とのチームにて学会発表、今後の健診のあり方を再構築するよう模索し始めた。

地域での現役世代（40歳～60歳）の受診率が低いが、本来この世代に対しての予防（運動、食事等）と指導、教育を実施し、代謝系疾患の治療に至る前に抑えることが医療費の削減と経済効果を生むことに繋がるため、現役世代の受診率向上のための努力が必要である。

今後の健康管理センターは、多種多様の受診者に対して、専門分野に興味を示すことだけでなく、医療の幅広い分野の知識を習得し、総合的な判断によって病気を作らない、すこやかな生活をおくることのできる対策を提示できるセンターとし、医師・看護師・栄養士・医療技術者・事務スタッフが、それぞれの意見を尊重し、チーム医療の原点の部署として作り上げることとする。

7. 健診内容

- ・ 人間ドック（日帰り、通院2日コース、1泊2日コース、VIPコース）

＊ドックオプション検査項目

（胃内視鏡、大腸内視鏡、大腸CTコノログラフィ、ヘリカルCT、脳画像検査、ピロリ菌呼吸試験検査、甲状腺検査、PSA検査、マンモグラフィ、乳腺エコー、婦人科細胞診、婦人科エコー、骨密度検査、ABI）

- ・ PET-CT（総合がん健診）
- ・ 健康診断（個人健診、雇用時健診、労働安全衛生法健康診断）
- ・ 全国健康保険協会生活習慣病予防健診（一般健診、付加健診、子宮がん健診）
- ・ 住民健診（子宮がん検診、乳がん検診）
- ・ 特定健診・特定保健指導
- ・ 職員健診（定期健診、乳腺検診、電離放射線健診、インフルエンザ予防接種）
- ・ 学校健診（定期健診、各種予防接種）
- ・ ピロリ菌除菌外来（自由診療）
- ・ フォローアップ外来（保険診療）

年度別受診者数

年度	1泊ドック	1日ドック	個人	企業	職員	P E T - C T	合計
2008	2,130	4,634	244	4,059	1,791	169	13,027
2009	1,889	4,962	194	4,540	1,728	203	13,516
2010	1,753	5,312	490	4,530	2,237	273	14,595
2011	1,711	5,579	515	5,146	2,399	178	15,528
2012	1,530	5,687	535	5,712	2,545	193	16,202
2013	1,367	5,910	275	6,272	2,851	176	16,851
2014	1,250	6,031	223	8,179	5,399	149	21,231
2015	1,279	6,882	209	10,785	3,546	232	22,933
2016	1,205	7,199	224	10,937	3,365	175	23,105

(フォローアップ外来)

年度	ピロリ菌外来	ピロリ菌検査	大腸内視鏡	胃内視鏡	腹部超音波	生活習慣病	合計
2014	298	110	210	101	94		813
2015	363	89	213	110	114	42	931
2016	403	82	219	103	17	59	883

文責 篠田 誠